

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公表番号】特表2012-515896(P2012-515896A)
【公表日】平成24年7月12日(2012.7.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-027
【出願番号】特願2011-546432(P2011-546432)
【国際特許分類】

G 0 1 N 27/90 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/90

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月21日(2012.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

管類の欠陥を包括的に監視、解析、および管理するシステムであって、
ロケール解析装置と管類の欠陥を特定する検出分類部とを含むコンピュータプラットフォームであって、該コンピュータプラットフォームのアーキテクチャは、自動解析タスクの並列実行を可能とする分散処理システムを含む、前記コンピュータプラットフォームと

、
特定のデータストリーム・クラスに関してデータを解析するチャンネルエイリアシング手段と、

解析者設定規則を自動的に適用して、高確率の検出結果自動解析方法の使用に起因するオーバーコールの形態を低減する自動最終受け入れ手段と、

前記管類および関連する構成要素の特定領域に対する設定を生成するロケールマッピング手段であって、標識境界の補正と、関連する複数の解析ロケールへの損傷メカニズムのマッピングと、拡張遷移検出、適応閾値検出、および位置決め手順を含むアルゴリズムとを実行する前記ロケールマッピング手段と

を備えるシステム。

【請求項2】

アルゴリズムトレーニング用インターフェースをさらに備える、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記検出分類部が、前記管類の電圧、角度、深さ、および長さの頻度間の比率または差異に関する複数の測定結果を含む、請求項1に記載のシステム。

【請求項4】

管類の欠陥を包括的に監視、解析、および管理する方法であって、

コンピュータプラットフォーム上で履歴データおよび取得データをロードおよび校正すること、

ロケールによって前記履歴データおよび取得データをソートすること、

前記データをマッピングして、前記管類および関連する構成要素の特定領域に対する設定を生成すること、

前記マッピングしたデータに基づいて欠陥を検出すること、

電圧、角度、深さ、および長さからなる群のうちの少なくとも一つの頻度間の少なくとも一つの比率または直接差異に関する測定結果を用いて前記欠陥を分類すること、

解析者設定規則を適用して、オーバーコールを低減するとともに、複数の冗長な結果の中から単一の最終結果を選択して報告することを含む方法。

【請求項 5】

チャンネルエイリアスを利用して、特定のデータストリーム・クラスのデータを解析可能とすることをさらに含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記マッピングすることが、標識境界の補正を実行することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記マッピングすることが、関連する複数の解析ロケールへ損傷メカニズムをマッピングすることを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

前記マッピングすることが、拡張遷移検出を含むアルゴリズムを実行することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

前記マッピングすることが、適応閾値検出を含むアルゴリズムを実行することを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

前記マッピングすることが、位置決め手順を含むアルゴリズムを実行することを含む、請求項 4 に記載の方法。